

## 《 清川地区町会連合会 》

開催日：9月9日（水）

### ◇防災訓練の実施方法について

質問	回答	対応
<p>毎年のように、地震による災害や台風等による河川の氾濫による災害が全国各地で起こっています。防災訓練や避難訓練の重要性はますます高まっていると考えます。町会においても防災訓練等を実施するなど災害対策を行ってまいりました。</p> <p>しかし、コロナ禍の今、町会として防災訓練等を実施するか否かを含めて方法を模索しています。区のお考えをお尋ねします。</p>	<p>北海道での地震や台風による千葉県での被害、九州での大雨等、昨今、全国各地で様々な災害が発生している状況から、防災訓練の重要性は高まっていると考えております。しかし、大勢の方が集まる防災訓練は、感染症の感染リスクが伴うため、現段階では原則実施を見合わせていただいております。</p> <p>防災訓練は生命、財産に関わることでもあるため、訓練の必要性が高く、実施する場合には、「密閉・密集・密接」の3密を避ける内容をご検討いただきたいと思います。訓練を実施する場合には、危機・災害対策課へご相談ください。</p> <p>区といたしましても、感染症への対応を踏まえ、災害対策に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇玉姫公園の状況について

質問	回答	対応
<p>一昨年前にも質問させていただきました、玉姫公園を占有する路上生活者についてです。</p> <p>当初3名の路上生活者が家財道具等を持ち込み、玉姫公園を占有し生活していました。「区長と語る会」での質問の後、区の粘り強い対話により、1名にまで減ったと伺っております。これまでの区のご努力に感謝を申し上げます。</p> <p>しかし、まだ特定の人々が占有しており、玉姫公園が近隣住民の憩いの場所と呼ぶのには、ほど遠いように思えます。現在の玉姫公園の状況と、今後の区の対応策についてお聞かせください。</p>	<p>区では、公園周辺住民の皆さまに影響を及ぼさないよう、路上生活者との対話による解決を基本としております。特別清掃や職員・委託業者による巡回指導等を実施し、新規流入者の防止とともに、公園の不適切利用の減少に向けて取り組んでおります。改善後は、夜間閉鎖型の公園に再整備する予定です。</p> <p>また、平成28年度から玉姫公園を含む区北部地区においては、昼間に加え夜間にも、医師・看護師の同行による路上生活者巡回相談を行っております。この結果、令和元年度は北部地区全体で8名の方が相談後に生活保護を受給し、路上生活から地域へと生活の場を変えることができました。</p> <p>より多くの方が路上生活から脱却できるよう、引き続き粘り強く取り組んでまいります。</p>	○

◇町会への経済支援について

質問	回答	対応
<p>現在、新型コロナウイルス感染症が終息する兆しが見えない状況が続いており、町会としても一日も早く終息することを願っております。そのような中、広報「たいとう」の配布委託や区政情報の周知委託の中止による町会収入の減、また町会によっては、感染症拡大防止のため、各町会会員へのマスクの配布、さらには各家庭の負担を軽減するために、町会費を減免するなど様々な取り組みを行っています。このような町会に対する助成金や区内199町会への定額給付金などの支援はできないでしょうか。</p> <p>企業や個人に経済支援策があるように、町会に対しても何らかの支援策があっても良いと思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、各町会において、通常の活動が行えないなどのご苦労があるかと思えます。また、マスクの配布や町会費の減免などの取り組みを実施している町会があることも存じております。</p> <p>区では、緊急事態宣言以降、区民の皆さまの生命と健康を守るため感染防止に努め、その一環で「広報たいとう」の配布委託や区政情報周知委託も一時中止したところでした。</p> <p>町会等運営補助金については例年通り交付を行ったところであり、町会への追加の支援については難しいと考えております。</p>	△

◇コロナ禍における避難所の対応について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明な状況の中、災害時に多くの方が避難する避難所においても「密」による感染が懸念されます。感染予防の対応が必要になると思います。</p> <p>そこで、マスクやフェイスガード、アルコール等の除菌剤、体温計をはじめ、1家族が1区画を利用できる、段ボールパーティションや段ボールベッドなどを配置し、新型コロナウイルス感染症にも対応できるようにすべきと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>避難所を開設する場合には、感染症対策を十分に行う必要があると考えております。区では、今までの避難所運営マニュアルに加え、感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルを作成し、各施設管理者や避難所運営委員会の方々等に周知しております。</p> <p>また、感染症対策の物品については、マスクやフェイスガード、アルコール等の除菌剤、体温計等の備蓄を順次進めております。パーティションと畳についても、民間団体と協定を結んでいるため、発災時に各避難所へ配備いたします。</p> <p>今後も、感染症の影響も考慮し、災害対策に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇ふるさと納税の導入について

質問	回答	対応
<p>ふるさと納税制度は、生まれ故郷や応援したい自治体に寄付ができ、地域の名産品などのお礼をいただける魅力的な仕組みだと思えます。お隣の墨田区では、地元の靴事業所や江戸切子など、地場産品をお礼としてふるさと納税を導入しています。</p> <p>台東区にも上野動物園や博物館をはじめとする魅力的な観光資源や靴産業などの地場産業があります。コロナ禍に苦しむ産業の支援にもなり同様に導入すべきと思えますが、区長のふるさと納税制度に対する基本的なお考えをお聞かせください。</p>	<p>墨田区をはじめ、多くの自治体では、ふるさと納税の受入額を増やすため、様々な返礼品を用意していることは認識しています。</p> <p>しかし、自治体間の返礼品競争が過熱したことを受けて、国は制度の見直しを行いました。</p> <p>また、返礼品を付けた寄附には、一定の経費負担が発生することが想定されます。</p> <p>こうした状況を踏まえ、台東区では、ふるさと納税の返礼品について、文化や産業、観光など本区の魅力の活用といった視点を含め、研究してまいります。</p>	<p>△</p>